

6月3日(水) クラス経営(1)

定時制に勤めていたとき、年度末にある先生が家庭の事情で突然退職することになった。そのとき私は2年生の担任をしていたのだが、管理職に呼び出され、その先生の後任として4年生を担任してくれないかと言われた。

商業科でほとんど女子のクラスだったが、前任の男性教諭は生徒の心をつかんで、上手にクラスを運営していた。「彼の後任は愛川先生しかいない」とおだてられ、私は担任することを承諾した。しかし、ここからが大変であった。

4月当初から私は「前の担任は〇〇してくれたのに」、「前の担任ならこんな時〇〇してくれるのに」と散々女子のクレームを受け始めた。そのたび、「あの先生と私は別の人間だからやり方が違って当たり前。このクラスを私のクラスにする」と言い続けてきた。

6月頃だったか、LHRの時間に例のごとく女子連中から「前の担任なら……」と攻撃が始まった。私はいつまでもこのままではいけないと思い、わざと彼女たちとぶつかることにした。「何度も言うが、前の担任と私は別人。今まで私のやり方で私のクラスを作ろうと努力してきた。そもそも前に担任していたクラスを捨ててまで、このクラスの担任を引き受けたんだ。好き好んでこのクラスの担任になったんじゃない」そう言って教室を飛び出した。

